

神奈川県立音楽堂と前川建築について

○ 前川國男氏について

- ・ 世界遺産に登録された国立西洋美術館などを設計した、ル・コルビュジエに師事し、戦前・戦後を通じて日本近代建築の歴史に大きな足跡を残した建築家。

○ 神奈川県立音楽堂について

- ・ 前川國男氏の設計により、昭和29(1954)年、公立施設初の本格的な音楽専用ホールとして開館した同館は、当時「東洋一の響き」として絶賛され、今も国内外から高い評価を受けています。
- ・ また、戦後における日本近代建築の傑作として評価され、日本建築学会賞を受賞したほか、国際組織DOCOMOMO Japan による、「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」にも選ばれています。
- ・ 令和3年、県指定重要文化財として登録されました。

<正面から見た音楽堂>



- ・ 「木のホール」と呼ばれるように、ホールの壁から天井まで木でできているなど館内の随所に見どころがあります。

<ホール内>



- ・ 開館65周年である令和元(2019)年度から、前川建築に精通したボランティアによる建築見学ツアーを開催し、令和4(2022)年度には8回の開催で計250人以上に御参加いただくなど、参加者からは非常に好評をいただいています。

<ロビー>



- ・ 令和元(2019)年度には、大規模改修工事による約1年間の休館を経てリニューアルオープンしたほか、県立音楽堂とともに前川建築である、県立図書館と県立青少年センターを含めた一体の景観改善事業により、前川建築としての魅力がより一層高まりました。県立音楽堂前には広場が完成し、来館者にとってより魅力的な施設に生まれ変わっています。

※ 県立図書館と県立青少年センターも音楽堂と併せてDOCOMOMO Japan による「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」として選ばれています。

<県立文化施設3館>



- ・ 以下のようにメディアでも取り上げられています。
- ① City living No.899 (2021年2月26日)
- ② テレビ大阪「名建築で昼食を《スペシャル横浜編》」(2021年1月23日)
- ③ 建設通信新聞 (2021年2月3日)
- ④ 神奈川新聞 (2021年8月4日)
- ⑤ 東京新聞 TOKYO Web (2021年9月9日)
- ⑥ テレビ東京「新美の巨人たち」(2022年2月19日)